

星屑

vol. 113



熊本県民天文台

'83. Nov

観測所ついに完成！

成松 和夫

念願の観測所が10月10日について完成した。私も観望のたびに小型赤道儀を持ちだしていたが仕事を終えてからの極軸のセッティングや、夜半の後かたづけに時間を取りられるので観測所を作りたいと思った。

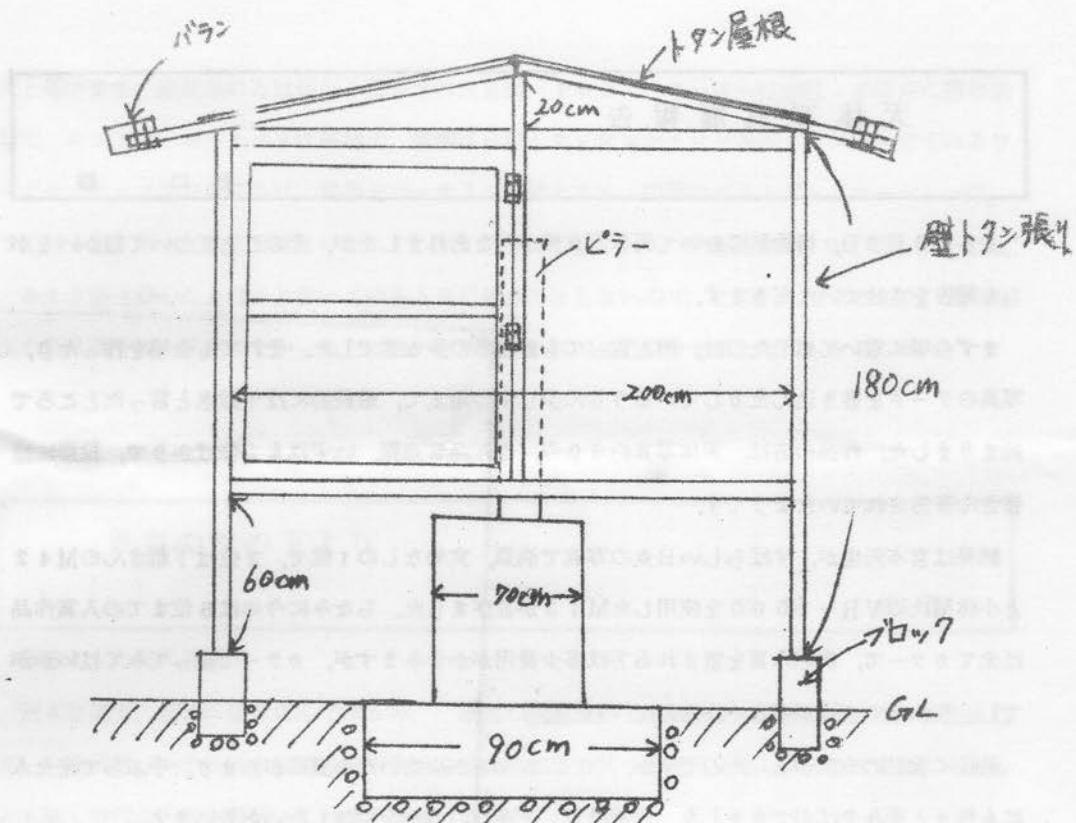
基礎だけは、3年前に90cm×90cmの深さ45cmで作っていたので（巷では、できずの天文台と呼ばれていた。）それにピラーを立て、ハッチ式の観測所を作ったわけである。

4月の上旬に、作ろうと思いつたってどんな構造にしようかと考え、一番簡単で安上がりな木造のハッチ式にする事にした。柱は自宅にある材木を使用する事にし、その外の材木は、簡単な設計図を書いて近所の材木店に注文し、2日ばかりして届いた。思ったより安かった。2週間に1回しか休みが取れなかったので、時間の節約のために、柱にドリルで穴をあけ、板をボルトじめして骨組を作る事にした。

最初に柱を立てる土台から作った。まず40cmの深さに穴を掘り、その中に栗石を入れ、ブロックを1段地中に埋め、その上にブロックを1段ついで柱の土台とした。骨組は、約10cm角長さ180cmの材木を4本切り、これを柱として、9cm×4.5cm長さ2mの板をボルトで止めて4角形の骨組を組み立てた。最初は、ゆらゆらしてきまらなかったが作って行くうちになんとかなると思い、屋根の製作に取りかかった。ハッチ式なので屋根はなるべく軽くしようと思い、4.5cm角材で骨組を作り、波トタンぶきとして裏には露が下に落ちないようにベニア板をはった。それを大型のステンレスのちょうつがい2コで本体に取り付けた。壁は一番安上がりな波トタンにする事にした。しかしトタン切りしかなく、切断するのに手には豆を作り、けがをしたりしてかなり痛いめにあってしまった。壁の内側は、波トタンのままで何も張っていない。床については、地上から80cmの所に4.5cm角の木を渡し、コンパネの12mmで床を作った。少し弱い様な気がしたが個人用なので十分ではないかと思う。望遠鏡のピラー部は、90cm×90cm深さ45cmの基礎に70cmの高さまでコンクリート柱を作り、それに1mの鉄管をコンクリートで堅めて作った。赤道儀をつなぐ部分は、鉄工所で作ってもらった。

出き上って、屋根を開こうとしたが、屋根が重すぎて1人の力で開かず、しかたなくアングルを打ち付け重りを付けて、バランスを取り、軽く開くように工夫した。

工期は、6カ月で実働7日で出き上った。費用は、約4万円でした。観測所は、観測に使用する時間より、星を見ながら酒を飲んでいる時間の方が多い毎日です。観測所の名前は、バランサーを



見ていて、でんでん虫観測所とでも呼ぼうかと思っています。

現在、FC65を使用していますが、将来は、もう少し大型な赤道儀に取り替えようと考えています。いつでも使用可能ですので気軽に遊びに来て下さい。

★ 星屑取材班から一言！

成松さん、長年の夢であった観測所の完成、ほんとにオメデトウゴザイマス！
ということで、わが星屑取材班若干1名+αは、さっそく成松氏の観測所を見学すべく、運営委員会の終わった後、成松さんを先頭に一路、甲佐へと向ったのでした。でんでん虫観測所は思ったより丈夫そうで、5名程室内に入っても床は落ちなかつたので、皆さん！安心して遊びに行くことが出来ますよ！・・・で、写真などを撮って帰ったのですが、でんでん虫観測所の完成祝賀パーティーはすでに開かれた後でした。

ちなみに、星屑編集委員の中の2・3名程この祝賀パーティーに参加して、しっかり、カゼをひいた人もいたとか、いないとか。これから寒くなりますので、皆さんも、カゼには十分気をつけて、星空を楽しんで下さい。

天体写真展報告

野口 修

去る10月9日、博物館において天体写真展が行なわれましたが、そのことについて短かいながらも報告をさせていただきます。

まず会場に着いて感じたのは、何と言っても参加者の少なさでした。それでも会場を作ったり、写真のデータを書き込んだりしているうちに少しずつ増えて、最終的には十数名と言ったところで始まりました。作品の方は、天体写真約30点、自作品2点程、いずれも力作ばかりで、投票には皆さん苦労されていたようです。

結果は宮本先生が、すばらしい日食の写真で満票、文句なしの1位で、2位は下郡さんのM42と小林M氏のVR-1000を使用したM13が並びました。ちなみに今年は5位までの入賞作品は全てカラーで、次回入賞を望まれる方は多少費用がかさみますが、カラーで撮ってみてはいかがでしょうか？（会場が明るくなるので一石二鳥）

最後に賞品の分配があったのですが、今回は参加者が少ないので賞品があまり、手ぶらで来た人にも色々と手みやげができました。次回はもっと多数の参加を期待したいと思います。

自己紹介

谷 哲郎

ぼくは、昨年の春に入会した“谷”といいます。昭和45年4月8日生まれ。天文に興味をもったのはちょうど小1から小2にかけてでした。そのころ、星のことは全く知らずなぜか博物館で、プラネタリウムを見たときからです。それから数日後には天文の図鑑を買って、パロマー山の5m反射で写したM31やM27を見て、6cm屈赤で探し始めました。当時は星図も何も知らないで、ただ気のむいた方向を見ていた上に、星雲や星団が写真のように見えると思っていたので見つかるはずがなかったのです。しかし、興味の方はうすれず、少しずつ知識を得て、いつの間にか数年たってしまいました。

今では、高橋製FC-100Eを買って色々なものを見ています。何も話すことがないので少しその事を話してみます。対物レンズはフローライトなので色収差はほとんど無く、非常にシャープ

だと思います。赤道儀の方は新しく発売されたEM-100で、モーターは赤絆・赤緯共に標準装備で、コントロールボックスは薄型で、電源はDC1.2Vをコントロールボックスからでているワニグチクリップにつなげれば、電池やバッテリーが使えます。問題のビリオデックモーションは、まだはっきり測ったわけではないが、10秒角ぐらいでしょうか。赤道儀にガタなどはありません。あまり望遠鏡のことばかり書いていると自己紹介にならないので、このへんでやめます。文章を書くのは苦手で、読みにくかったとは思いますが、これで自己紹介を終わりにします。

東京の空の下より

松尾 俊信

皆さん、こんにちは！

熊本を出て、当地に移り住んで早5年。最近の星屑を見ても知らない名前が多くなってきました。熊天研、いや失礼！熊本県民天文台も完全に第2世代へと世代交替したようですね。もっとも第1世代の人でも頑張っている人も多いようですが……。

さて、今回はEditor Nより川崎の“アマ天”のレポートを依頼されたのですが、残念ながら参加できませんでしたので、近況の報告をさせて頂きます。

東京では、人数が多いせいか、または環境のせいか、潜在的な自然愛好者は結構多いようです。私もその1人だと自認しているのですが、最近は星とは疎遠になってしまいました。最近専らの相手は山です。信州八ヶ岳にはペンションなどが多く建てられ、関東地方から車で、或いは電車で星を見に行く人も多いようです。また、星を売り物にしている所も結構多いようですね。

今年の夏、私もその八ヶ岳へ登ってきました。山で美しい星空を見たいと思っているのですが、今までお目にかかった事はありません。今回は悪い事に翌日は雨まで降って……。もしかすると、私は曇男なのかもしれません。（来年の夏頃、熊本に顔を見せるかもしれません。その時はアシカラズ）

コンピュータのソフトウェアの仕事をしていますが、趣味の方でもマイコンをやっています。仕事と趣味が同じようなもので、傍目には良く見えるかもしれません、仕事でやると趣味でやるのとは、全然違いますね。ちなみに、マイコンはNECのPC-8801です。

会員で上京した時、私の家を利用する人が多く、多くの人に“別荘”と呼ばれています。我家のニューフェイスが若干うるさいですが、上京された折にはどうぞ。

定例観測会が始まる!!

古庄 和生

星が好き、星を見たい、望遠鏡が欲しい、星仲間と話したい、星の事を知りたい、誰か教えてくれる人がいないか、等々→→→熊本県民天文台がある→→→観測会がある→→→希望がかなり→→→仲間がふえる→→→初心者もハイレベルの人もガンバル→→→天文台の活動がサカシになる→→→仲間がふえる→→→…。

ということで観測会を毎月一回第四土曜日に行なうことに決定した。どんな新人が来るか楽しみにしている。新人に会って話をしたい旧人も期待していいだろ。初心者でも、どんな簡単な事でも話しができるという事は便利である。

星座の話し、神話の話し、星々の話し、望遠鏡の話し、星のロマンス、星の歌、青い星・赤い星、惑星の話、月の話、星の名前、人工衛星の話、ロケットの話、UFOの話、などなどなど何でも聞きなさい。新人よ！ 知りたいことは何でも私に聞きなさい!!

星が好き、星を見たい、望遠鏡が欲しい、星仲間と話したい、星の事を知りたい、誰か教えてくれる人がいないか、等々→→→熊本県民天文台がある。

※ 先月号で、第四日曜となっていましたが、第四土曜の誤りです。すみません。（編集部！？）

★ 天文台よりお知らせです ★

11月の定例観測会は、堀田氏を講師（？）にした、“初步の天体写真教室”というのをテーマに天文台にて行ないます。時間は、PM 7：00～10：00まで。車のない人は、博物館の方まで連絡のこと。尚、当時は、カメラ etc お持ちになって、実際に、自分で星の写真を撮ってみましょう。お待ちしてまーす。

天文台へのご案内

さて、だいぶ寒くなってしまったが、これから星空散歩にはもってこいの時期になりました。そこで、天文台をより多くご利用いただくためにバスの時刻表を載せておきます。

注) いづれも、熊本バス(別称 赤バス)を利用のこと。

熊本 → 天文台

天文台 → 熊本

新市街発 15:40 上郷行

交通センター発 17:00 鶴瀬行

交通センター発 17:25 上郷行

新市街発 18:20 下安見行

交通センター発 19:05 鶴瀬行

交通センター発 19:45 鶴瀬行

(藤山で下車、天文台まで徒歩で約12分)

藤山発 ※ 6:41 交通センター行

※ 7:06 新市街行

7:26 新市街行

17:51 交通センター行

※ 19:55 交通センター行

城南発 21:15 交通センター行

(最終便)

注) ※は、日祝運休します。

☆ お願いコーナー ☆

1. プラネタリウムの新しいプログラム製作に、アドバイス希望。

構想、BGM、スライド写真、etc. 詳しくは、博物館内、永井・宮本あて。

2. 星屑編集局では、あいかわらず、原稿を欲しがっています。自分の撮った天体写真やポエム、製作記、近況報告とか、なんでも結構です。是非、天文台あてお送り下さい。

☆☆ インフォメーション・コーナー ☆☆

PART. 1. 11月26日(土)の定例観測会は、前述のように、“初歩の天体写真教室”をテーマに行ないます。どんどん来て下さい。

PART. 2. 今度、やっとのこと“熊本県民天文台会員証”なるものが発行されることになりました。この会員証を天文台で運営委員の人見せると、一般の来台者の方とは…そーとーな対遇の差があるとか、ないとか！？

とにかく、持つてると、ナニカト便利な“会員証”なのです。（でも、どーして今までなかったのでしょうかー！）

PART. 3. '84“星を見よう会”という、全国的なイベントが、九州地方で開催される可能性が大。その時は、KCAO（熊本県民天文台）も協力の予定。全国各地から、いろんな人がやってくるので、みんなで抜けよう！友だちの“わ”

編集後記

Y. Nakagawa

今回の星屑の原稿を集めるのは、行事が多かったせいか、比較的“楽”でもなかった！ん！でも、11月2・3日の観測会は、いろんな人がきてくれまして、なかなかおもしろかったですよおでんパーティetcもやって。（詳しいことは 次号で！）

最近、会員の人たちが、なかなか天文台にやってこないため、なんとか来てほしいということでいろんなことを始めて見ました。第4土曜の定例観測会もその1つです。天文台まで遠いからなどと言わず、気軽な感じでどんどん来て見て下さい。私めも、お待ちしております。ハイ！（ちなみに、水曜日の担当です。）運営委員の人たちは一風変わってはいますが、決して、決して、恐い人たちではありません。たまには、ひやかしにでも行ってあげて下さい。などと書いているうちに編集後記になってないような気もしますが、この辺で終りにします。

P. S.

原稿を依頼していた中田さん、堀田くん、古川くん、ごめんなさい。スペースの関係で次号にまわしてしまいましたので…。